

令和 4 年度

城東区運営方針《検討版》 ～Ver.1～



城東区マスコットキャラクター「コスモちゃん」



目 次

●区運営方針とは	1
●城東区ってこんなまち	2
●区運営方針のあらまし	
城東区の目標・役割	5
城東区×SDGs	6
新型コロナウイルス感染症への対応について	8
●主な経営課題について	
経営課題1 人と人がつながり、城東区を誇りに思える	
コミュニケーション豊かなまちに	9
戦略1－1 地域におけるつながりを通じたまちづくり	11
1-1-1 地域活動協議会に対する支援	
戦略1－2 区民が生き生きと活躍している魅力あるまちづくり ...	13
1-2-1 多様な活動主体と協働したまちづくり	
経営課題2 地域で支えあう安全で安心なまちに	15
戦略2－1 自助・共助を基本とした災害に強いまちづくり ...	18
2-1-1 防災力の向上	
戦略2－2 犯罪の少ない安全で安心なまちづくり	20
2-2-1 犯罪抑止力等の向上	
経営課題3 安心して子育てができ、心豊かに力強く	
未来を切り拓く子どもを育むまちづくり	22
戦略3－1 子育て世帯が安心して、生み育て、	
働くことができるまちへ	25
3-1-1 子育て支援事業の推進	
戦略3－2 子どもたちの可能性を育むまちづくり	27
3-2-1 子どもたちの学校生活充実化事業	

経営課題4 地域が支えあい、住みなれた場所で 安心して暮らせるまちへ	29
戦略4-1 高齢者、障がい者、子どもを地域が 互いに見守り、支えあうまちへ	33
4-1-1 地域福祉支援事業	
4-1-2 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業	
戦略4-2 高齢者が住み慣れた地域で 安心して暮らし続けるまちへ	35
4-2-1 地域包括ケアシステムの推進	
経営課題5 区民の皆さんに信頼される区役所づくり	37
戦略5-1 コンプライアンスの確保	39
5-1-1 職員のコンプライアンス意識の向上	
戦略5-2 窓口サービスの向上	40
5-2-1 窓口環境の改善	
5-2-2 接遇能力の向上	
戦略5-3 区民の皆さんとすすめる区政運営	42
5-3-1 区民との対話や協働による区政運営	
5-3-2 区民ニーズの的確な把握と積極的な情報発信	
● 「市政改革プラン3.0」に基づく取組等	446



区運営方針とは…

全市的な方針を踏まえ、区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度策定しているものであり、区の目標像・使命、経営課題とともに課題解決のための事業戦略（施策レベル）・具体的な取組（事務事業レベル）を示しています。

なお、区運営方針については、自律した自治体型区政運営の推進に向け、地域としての区の将来像や施策展開の方向性等をとりまとめた「区将来ビジョン」の単年度ごとのアクションプランになります。

区運営方針の構成

区運営方針のあらまし … 「施策の選択と集中の全体像（概要）」

所属の目標や使命を示し、何について特に優先して取り組んでいくのかなど、区長としての「選択と集中の方針」を記載しています。

施策の集中の方針 … 「重点的に取り組む主な経営課題」

重点的に取り組むそれぞれの経営課題に対する戦略や具体的な取組の内容を記載しています。

区運営方針策定の年間スケジュール

9～11月頃

運営方針（素案）の具体的な取組内容や業績目標について、区政会議委員へ意見聴取
運営方針（素案）の公表

1～2月頃

運営方針（案）の作成作業

2月頃

運営方針（案）の公表

3月

市会での審議、議論を踏まえ必要な修正

4月上旬

運営方針の確定・公表

城東区ってこんなまち

★城東区の概要★

城東区は、第二次大戦中の昭和18年4月、大阪市の22区制実施にともなう7増区の1区として東成区の北部地域と旭区の南部地域を併せて分区独立し、誕生しました。大阪城の東に位置し、地勢的には東部の低湿地帯である旧大和川流域に属し、標高1~2mと区域全般に低く平坦で、東西に寝屋川と第二寝屋川が流れ、南北に城北川、平野川、平野川分水路が通じるなど、河川が多く、他区にない特徴を示しています。

鉄道交通網では地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線・今里筋線・中央線、JR学研都市線、京阪電鉄の各鉄道が区内を走っています。また、平成31年3月には、JRおおさか東線が開業するなど、公共交通機関の充実により利便性の一層の向上が見込まれています。

道路交通網では東西方向に古市清水線（国道163号）、東野田茨田線（鶴見通り）、片町徳庵線（城見通り）、中央大通り。南北方向には、新庄大和川線、森小路大和川線、豊里矢田線〈一部未完成〉、区内中央部をカギ型に国道1号が走るなど都心へのアクセスも良好な交通至便の地です。

当区は明治時代から鉄道が開通し、陸軍砲兵工廠や紡績工場ができ、その後、次第に関連工場が集まり、また寝屋川や第二寝屋川、城北川沿いには金属・機械・化学関係の工場が集中するようになりました。また、区内南部には衣料・縫製関係の事業所も多く、生野区、東成区、鶴見区とともに市内東部の工業地帯を形成してきました。

現在の当区は、区内北東部の関目・董地区が戦前に行われた土地区画整理事業により緑の多い整然とした街区となり、また西南部の森之宮地区では、かつての陸軍砲兵工廠跡地にはJR・地下鉄の車庫や高層住宅団地が、さらに鴫野地区も再開発により新たな高層住宅群が出現するなど、街並みは大きな変貌をとげてきました。そして近年では区内各地区で工場等の転出跡地などに高層集合住宅や大規模小売店が相次いで建設されるなど、生活・交通至便な住宅地へと変化しています。

今後も、公共交通機関の一層の充実、水辺環境整備、緑化の推進などによって、職・住のバランスのとれた区としての発展に大きな期待が集まっています。

★ 城東区のマスコットキャラクター★ 「コスマちゃん」



★プロフィール★

平成25年4月に城東区制70周年を記念して誕生しました。城東区の花「コスマス」を頭に「モクレン」を胸にかたどり、青色の服は区内を流れる河川を表現し、城東区の魅力をてんこ盛に表現しています。

★城東区の花★

城東区では、平成2年の「国際花と緑の博覧会」の開催に向け、末永く区民のみなさんに親しまれ愛される「区の花」を定めるため、区内全校の小学生を始め広く一般公募を行い、その結果、昭和63年10月29日、1万6千31通のうちともに最多応募数により「モクレン」「コスマス」が制定されました。

モクレンは一億年以上も前から生息し、早春のこすえにふくらむつぼみは春への希望を表し、コスマスは日本の秋を代表する花で別名秋桜とも言います。花言葉はモクレンが自然への愛と恩恵、コスマスが調和と真心、城東区民の地域、近隣の愛と協調を象徴しています。

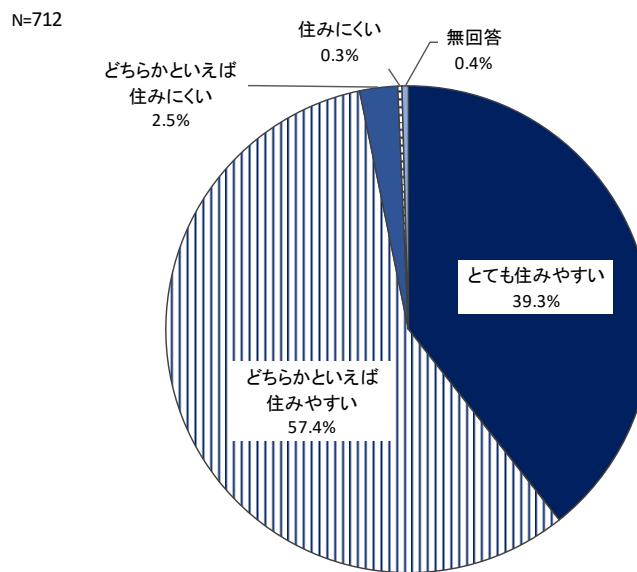
★数字で見る城東区★

	区のデータ	24区内の ランキング	市のデータ	出典
面積	8.38km ²	12位	225.32km ²	令和3年8月1日推計人口
人口	169,024人	4位	2,756,034人	令和3年8月1日推計人口
世帯数	83,250世帯	5位	1,479,367世帯	令和3年8月1日推計人口
人口密度	20,170人／km ²	2位	12,232人／km ²	令和3年8月1日推計人口
外国人人口	5,273人	10位	142,995人	令和3年3月末市民局資料
事業所数	5,979事業所	10位	190,629事業所	平成26年経済センサス基礎調査

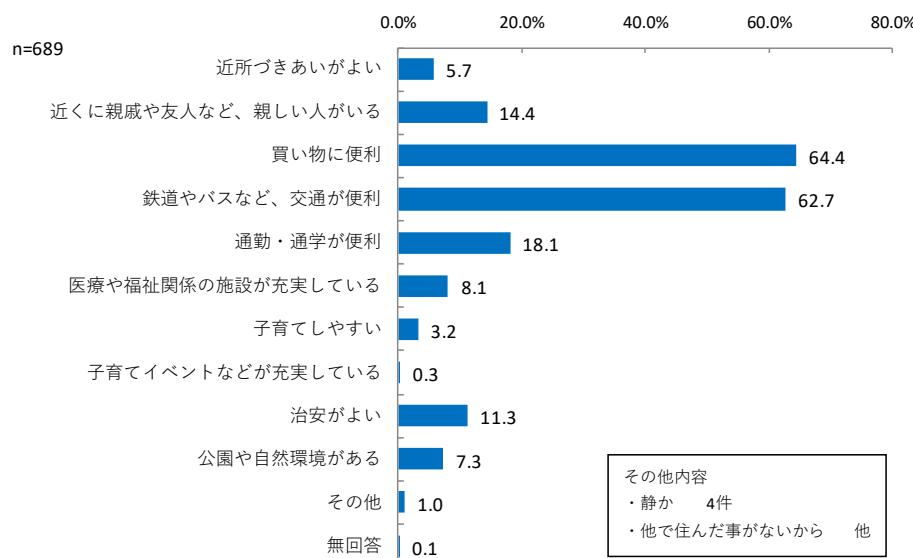
★各種データ★

令和2年度区民アンケート結果（抜粋）

問7 城東区はあなたにとって住みやすいまちですか。

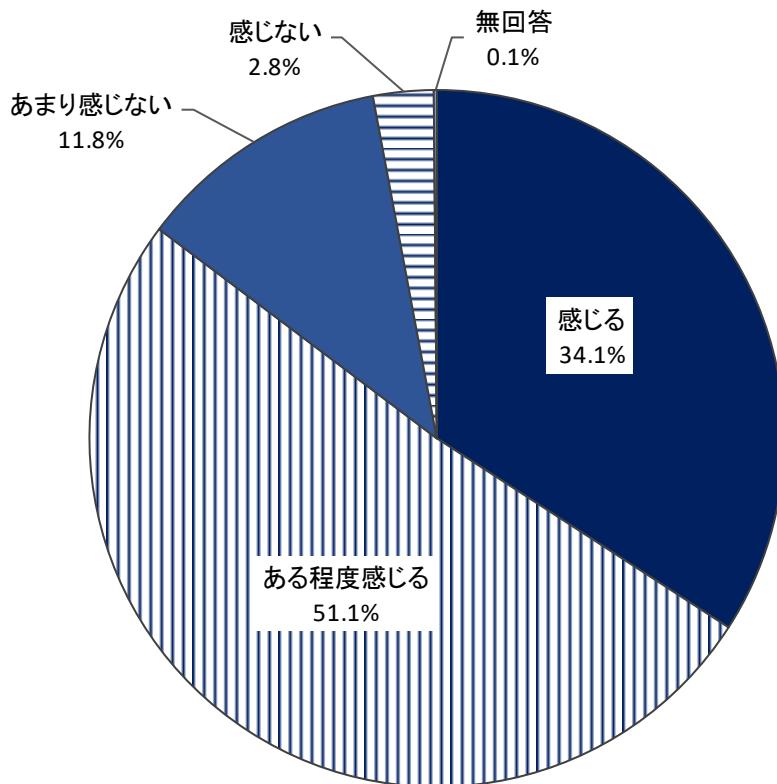


問8 住みやすいと感じる理由を2つまでお選びください。
(問7で「1. とても住みやすい」又は「2. どちらかといえば住みやすい」と答えた方【689名】にお聞きしました。)



問11 城東区に愛着を感じますか。

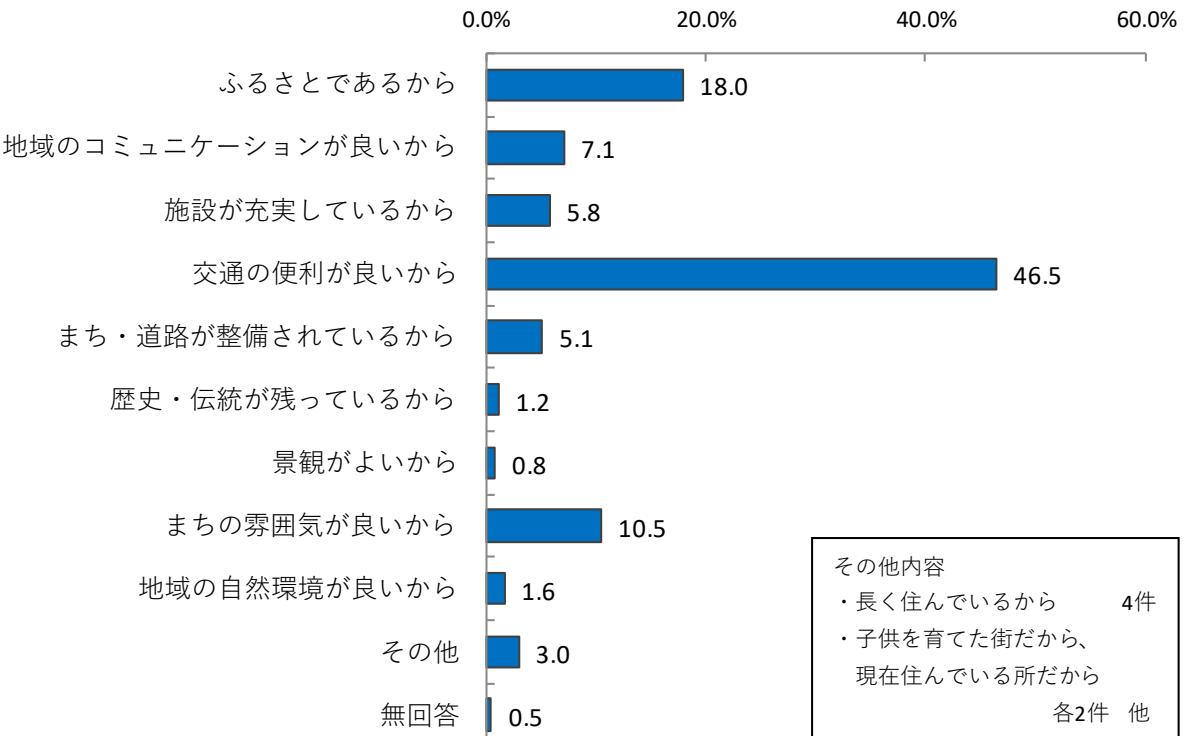
N=712



問12 愛着を感じる主な理由をお選びください。

(問11で「1.感じる」又は「2.ある程度感じる」と答えた方【607名】にお聞きしました。)

n=607



★ 城東区がめざすこと ★

城東区に住んでよかったですと思えるまち ～人が輝き活気にあふれ、まちに愛着があること～

- 1 人と人がふれあい、きずなを大切にし、地域全体で支え合う「温かいまち」
- 2 住民のみなさん一人ひとりが考え、つくりあげる「住民主体のまち」
- 3 誰もが穏やかに日々を過ごすことができる「安心なまち」

★ 城東区が担う役割 ★

区民とともに、人と人との絆を大切にし、 城東区に住んでよかったですと思えるまちづくり

- 1 地域の住民同士が力を合わせ、豊かなコミュニティを築いていること
- 2 災害に強く、犯罪の少ないまちであること
- 3 安心して子育てができ、子どもを育めるまちであること
- 4 誰もが健康で、支援を必要とする人を地域で支えるまちであること
- 5 区役所が信頼できるところであること



城東区 × SDGs

～ 城東区では、「城東区SDGs行動指針」に基づき、SDGsの取組を進めています～

SDGs（エスティージーズ）とは、「持続可能な開発目標」という意味です。2030年までに達成すべき、開発が進んだ国もまだ途中の国も、国も地方も、会社も学校も、大人もこどもも、あらゆる垣根を超えて協力し、より良い未来をつくろうと国際連合で決まった17の目標（ゴール）です。

城東区では「住んでよかったと思えるまち」の実現をめざし、地域社会の課題を解決し、運営を持続できるよう、SDGsを意識した区政運営を心がけています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



本市におけるSDGsの達成に向けた取組の一環として、区においてもSDGsの視点から施策の見える化を図ることにより、SDGsについての認知度向上を図り、SDGsの達成に資することをめざすため、この運営方針の各経営課題に、対応する主な「17のゴール」を記載しています。



主な取組と関連するSDGs(例)

SDGsは、城東区が進めている様々な取組と密接な関わりがあります。「広報誌、ホームページ等を通じた情報発信による普及啓発」や「SDGsサミットの開催等による関係者との連携の創出」を図るとともに、SDGsの取組をさらに進めていきます。

(参考) 令和2年度Twitterアンケート【N=235】

あなたは、「SDGs」を知っていましたか。

「知っていた」

49.8%

「内容は知らなかったが聞いたことがあった」

21.7%

「知らなかった」

28.5%

目標3[保健] すべての人に健康と福祉を

- ・子育て支援事業の推進 [具体的取組3-1-1]
- ・地域福祉支援事業 [具体的取組4-1-1]
- ・地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
[具体的取組4-1-2]



目標4[教育] 質の高い教育をみんなに

- ・子どもたちの学校生活充実化事業 [具体的取組3-2-1]



目標11[持続可能な都市] 住み続けられるまちづくりを

- ・地域活動協議会に対する支援 [具体的取組1-1-1]
- ・各地域活動協議会との意見交換
[具体的取組1-1-1/5-3-1]
- ・防災力の向上 [具体的取組2-1-1]



目標16[平和] 平和と公正をすべての人に

- ・犯罪抑止力等の向上 [具体的取組2-2-1]



目標17[実施手段] パートナーシップで目標を達成しよう

- ・区政会議を効果的に運営 [具体的取組5-3-1]
- ・各地域活動協議会との意見交換
[具体的取組1-1-1/5-3-1]



新型コロナウイルス感染症への対応について

本運営方針策定時点でも、今般の新型コロナウイルス感染症は世界的に拡大しており、先行きも不透明であることから、その影響を注視しつつ、城東区として対応できる取組を進めていきます。

主な取組

- ・新たな生活様式を意識した活動再構築等の支援 [具体的取組1－1－1]
- ・コロナ禍における避難所ガイドライン作成支援、感染症対策物資を含む避難所備蓄物資の随時増強 [具体的取組2－1－1]
- ・YouTube等を活用した保活に関する情報発信 [具体的取組3－1－1]
- ・新型コロナ等の状況も踏まえた地域における福祉支援のあり方について取組を進めていく [具体的取組4－1－1]
- ・多職種研修会研修用動画資料作成 [具体的取組4－2－1]
- ・郵送による申請勧奨、比較的すいている日曜開庁日への誘導、システムを活用した事前予約制の実施、手指消毒液・飛沫防止シートの設置等 [具体的取組5－2－1]
- ・コロナ禍をふまえた区政会議運営方法を検討 [具体的取組5－3－1]
- ・SNSを利用した意見聴取の取組を実施 [具体的取組5－3－2]

他の取組

(庁舎内における取組)

- ・コロナ対策方針等の掲示
- ・定期的な換気、待合スペースにおける距離の確保
- ・職員のマスク着用、事務室内のビニールパネルの設置

(区民の皆さんへの啓発・情報発信)

- ・区広報誌、ホームページ、SNS等で継続的な注意喚起・広報周知
- ・城東チャンネルで最新情報の発信
- ・庁舎内アナウンス、区青バトでのアナウンス
- ・シトラスリボンプロジェクトの推進

(ワクチン接種)

- ・城東区新型コロナウイルスワクチン接種推進調整会議の設置
- ・区民ホール集団接種会場の運営
- ・役所や地域での接種予約支援

次ページ以降の、各経営課題・戦略・具体的取組について、区政会議の所管部会を下記の記号で表しています。

地域福祉部会 福

こども・教育部会 子

まちづくり部会 ま

経営課題1

主なSDGsゴール
11 [持続可能な都市]
17 [実施手段]



人と人がつながり、城東区を誇りに思える コミュニティ豊かなまちに

ま

めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

さまざまな活動主体が互いに連携して活動し、コミュニティが豊かになっている

現状・データ

R2 区民アンケート

[問7]城東区は住みやすいまちと感じる 96.8%

[問8]住みやすいと感じる理由（2つまで選択）

買い物に便利（64.4%）

鉄道やバスなど、交通が便利（62.7%）

通勤・通学が便利（18.1%）

近くに親戚や友人など、親しい人がいる（14.4%）

治安がよい（11.3%）

医療や福祉関係の施設が充実している（8.1%）

公園や自然環境がある（7.3%）

近所づきあいがよい（5.7%）

子育てしやすい（3.2%）

子育てイベントなどが充実している（0.3%）

その他（1.0%）

[問11]城東区に愛着を感じる 85.3%

[問12]愛着を感じる主な理由

交通の便利が良いから（46.5%）

ふるさとであるから（18.0%）

まちの雰囲気が良いから（10.5%）

地域のコミュニケーションが良いから（7.1%）

施設が充実しているから（5.8%）

まち・道路が整備されているから（5.1%）

地域の自然環境が良いから（1.6%）

歴史・伝統が残っているから（1.2%）

景観がよいから（0.8%）

その他（3.0%）

(3ページ掲載データ再掲)

(4ページ掲載データ再掲)

◆R2区民アンケート：住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じますか。

（単位：%）【N=712】

問14	1. 感じる	2. ある程度 感じる	3. あまり感 じない	4. 感じない	無回答
全体	9.1	48.9	27.8	13.9	0.3
年 齢 別	29歳以下	1.9	37.7	47.2	13.2
	30歳～39歳	6.6	35.5	32.9	25.0
	40歳～49歳	3.8	50.0	33.1	13.1
	50歳～59歳	9.5	41.4	30.2	19.0
	60歳～69歳	7.1	61.1	21.2	9.7
	70歳～79歳	16.4	52.9	20.0	10.0
	80歳以上	13.4	53.7	22.0	11.0

現状・データ

◆R2区民アンケート:住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる主な理由をお選びください。(単位:%) 【n=413】

問15	1. 日頃からあいさつをする相手がいるから	2. 祭りなど地域イベントに参加しているから	3. ボランティア活動に参加しているから	4. 子育てや学校を通じて知り合いがいるから	5. サークルや習い事を通じて知り合いがいるから	6. ラインやフェイスブックなどのSNSで知り合いがいるから	7. その他	無回答
全体	69.7	6.8	3.6	10.4	4.8	0.7	2.7	1.2
年齢別	29歳以下	52.4	9.5	0.0	23.8	4.8	4.8	0.0
	30歳～39歳	59.4	9.4	0.0	31.3	0.0	0.0	0.0
	40歳～49歳	55.7	10.0	1.4	27.1	0.0	0.0	4.3
	50歳～59歳	74.6	8.5	5.1	3.4	3.4	1.7	3.4
	60歳～69歳	70.1	7.8	7.8	3.9	5.2	1.3	2.6
	70歳～79歳	80.4	3.1	3.1	2.1	7.2	0.0	3.1
	80歳以上	74.5	3.6	3.6	3.6	10.9	0.0	3.6

・地域振興会(町会)への加入率 70.70% (令和3年1月1日現在)

◆音楽、花づくり、まちづくり、スポーツなどのイベントや取り組みに、参加したことがある人

(R2区民アンケートより)

(問27)	回答者数	参加経験あり	割合
全体	712	337	47.3%
年齢別	29歳以下	53	23
	30歳～39歳	76	32
	40歳～49歳	130	80
	50歳～59歳	116	51
	60歳～69歳	113	61
	70歳～79歳	140	53
	80歳以上	82	36

分析

- ・住みやすいまちと感じる区民は多いが、その理由の大半は「交通や買物が便利」であり、「近くに親しい人がいる」は14.4%、「近所づきあいがよい」は5.7%と低い数値になっている。
- ・「つながり」「きずな」について、住民同士の「つながり」等があると感じる、ある程度感じると答えた方の理由は、「日頃からあいさつをする相手がいるから」がどの年代においてももっとも多いが、50歳以上で70%を超えているものの、49歳以下は50%台にとどまっている。また、29歳以下では、「ラインやフェイスブックなどのSNSで知り合いがいるから」が4.8%あり、年齢層や生活スタイルの状況によって違いが生じている。
- ・自らのまちは、自らでつくろうという方向性を持ち、さまざまな活動主体がまちづくり、音楽、スポーツなど幅広く活動を展開しているが、その活動に自らが参加し、つながりの輪を広げる事が出来ていない。子育て世代、若者の参加率が全体平均を下回っている。

課題

- ・交通や買物に便利という理由だけでなく、地域コミュニティや都市魅力を理由としてまちに愛着を感じ、また、年齢を問わず、「つながり」「きずな」を感じるまちづくりへの取組が不足している。
- ・それぞれの事業について子育て世代、若者が参加しやすい、参加したくなる内容・環境の整備が不十分である。また、若者から高齢者までが協働でおこなえる事業の展開も不足している。

【戦略1－1】

ま

地域におけるつながりを通じたまちづくり

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・地域において様々な活動主体が、新たな生活様式を意識したうえで連携を進めることで、コミュニティが豊かになり、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態。

《成果目標》

- ・住民同士の「つながり」や「きずな」があると感じる割合（区民アンケート）
令和4年度 70%以上（令和2年度実績 58.0%）

- ・地域活動協議会¹の構成団体が、地域特性に則した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合
令和5年度 90%以上（令和2年度実績 88.9%）

戦略

- ・コロナ禍が継続している場合において、各事業への住民参加によるつながりづくりが困難な中、新たな生活様式を意識した各地域活動協議会における活動実施を支援する。
- ・区広報誌とホームページや各地域活動協議会Facebook等とを連動させた手法で広く区内に周知し、新たな担い手の発掘や各地域活動協議会における地域課題解決やコミュニティづくりへの寄与など、地域活動協議会が自律した活動を支援する。



用語解説

1 「地域活動協議会」とは、おおむね小学校区を範囲として、地域団体やNPO、企業など地域のまちづくりに関するいろいろな団体が集まり、話し合い、協力しながら、さまざまな分野における地域課題の解決やまちづくりに取り組んでいくための仕組みです。

具体的には、次のような点を備えたさまざまな活動主体の連合組織を、地域活動協議会として位置付けています。

ア おおむね小学校区域を単位として活動することを基本としていること

イ 地域住民の組織をはじめ、ボランティア団体、NPO、企業など地域のまちづくりに関するさまざまな活動主体が幅広く参画していること

ウ 民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されていること

エ 特定の分野ではなく、防犯・防災、子ども・青少年、福祉、健康、環境、文化・スポーツなど広く地域のまちづくり全般を活動対象としていること

城東区では16地域において形成されています。

戦略1－1の具体的取組

【1－1－1 地域活動協議会に対する支援】

ま

- ① 区役所・中間支援組織（まちづくりセンター）²による地域活動協議会活動支援
- ・各地域活動状況の情報収集と情報共有支援
 - ・新たな生活様式を意識した年度内活動再構築等の支援
- ② 各地域活動協議会の活動内容等の情報発信支援
- ・区広報誌において、地活協の意義、機能にかかる情報発信、地域活動の紹介記事掲載と各地域活動協議会のFacebookや区ホームページ内、城東区情報発信動画「城東チャンネル」等への誘導体制整備（紙媒体と電子媒体の連動）
 - ・区民情報コーナーへの各地域活動協議会広報誌・イベント周知配架
 - ・転入者用情報提供コーナーでの町会加入啓発ビラの配布を実施

R2 決算額	52,517千円	R3 予算額	57,186千円	R4 算定見込額	
-----------	----------	-----------	----------	-------------	--

【業績目標】

地域活動協議会を知っている区民の割合 54.0%
 （令和2年度実績 53.5%）
 地域活動協議会の構成団体が、地域活動協議会に対し地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合 85%
 （令和2年度実績 78.7%）

【撤退・再構築基準】

前年度の実績を下回る場合は実施手法を再構築する。

【前年度までの実績】

- ・複合施設1階「区民情報コーナー」への広報紙の配架
- ・区twitter、区ホームページによる情報発信（随時）
- ・区広報誌における活動紹介（毎月・7月は増頁による特集記事）
- ・転入者用情報提供コーナーでの町会加入啓発ビラの配布
- ・全地域活動協議会と区長の意見交換会を年2回開催し、課題収集と個別アドバイス等を実施
- ・区ホームページ内、城東区情報発信動画「城東チャンネル」において、区長・会長対談動画及び、地域連携関連動画を配信



用語解説

² 地域活動や課題解決に主体的に取り組む地域活動協議会の自律運営に向け支援を行う組織。

【戦略1－2】

区民が生き生きと活躍している 魅力あるまちづくり

ま

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- 多くの区民が一度は、音楽、花づくり、まちづくりのいずれかの事業に参加し、今後も参加したいと思っている状態。

《成果目標》

- 区民アンケートにおいて、区で行う事業に参加したいと思う割合（区民アンケート³）
令和4年度 60%以上（令和2年度実績 55.1%）

戦略

- 「城東区ゆめ～まち～未来会議」⁴や「アイラブ城北川実行委員会」⁵などのまちづくりの担い手と連携しながら、幅広い層の自主的活動が活性化するように支援する。
- すべての人が音楽や芸術にふれあえる機会の提供とこどもたちの音楽活動を支援する。
- 「区民による緑化活動」を支援するとともに緑化活動を推進する人材育成をおこなう。
- 小学校等を拠点として取り組まれている生涯学習活動を支援し、地域コミュニティづくりを推進するとともに文化・スポーツを通じてこどもから高齢者までが気軽に交流できるような場所づくりを行う。



用語解説



³ 多様な意見やニーズを把握し、その結果を区の事業実施や事業改善に反映させ、区政運営のより一層の充実を図る目的で、住民基本台帳により無作為に抽出した区民を対象に実施しているアンケート調査。

⁴ 地域固有の特性や魅力を活かした将来のまちの姿を描き、この将来像の実現に向けて区民が互いに協力し合いながら、地域で取り組む活動の方向性を検討する「場」として、平成16年度に組織された。平成18年度からは策定した「城東区未来わがまちビジョン」の実現に向けて始動し、「城東区SARUGAKU祭」や「JOTO区ラシック」などの事業に主体的に取り組んでいる。

⁵ キャンドルナイトin城北川などの事業を通じて、城北川の魅力を発信している区民で構成する組織。

戦略1－2の具体的取組

【1－2－1 多様な活動主体と協働したまちづくり】

ま

- ① アイラブ城北川実行委員会の自立促進を図りながら協働し、城東区の地域資源のひとつである城北川を活用した取り組みを進める。
- ・城北川泳ぐこいのぼり大作戦
 - ・キャンドルナイトin城北川 等
- ② はなびとコスマスタッフ等の緑化ボランティアと協働し、花と緑あふれる取り組みを進める。
- ・種から育てる地域の花づくり支援事業
 - ・緑化リーダー育成講習会 等
- ③ 城東区ゆめ～まち～未来会議事業への開催支援
- ・JOTO区ラシック、JOTO合唱祭などの音楽事業
 - ・城東区SARUGAKU祭 等
- ④ 民間事業者・学校園と協働し、誰もが気軽に身近な場所で音楽に親しめる機会の提供
- ・音楽の祭日、吹奏楽フェスティバルの開催支援など
- ⑤ スポーツレクリエーション協会等と協働し、城東区内におけるスポーツ振興の取組みを進める。
- ・スポーツカーニバルの開催支援
 - ・各種区民スポーツ大会の開催支援
- ⑥ 人権啓発推進員や生涯学習推進員等と協働し、城東区内における人権啓発・生涯学習の推進を図る。
- ・人権サミット
 - ・生涯学習フェスティバル（作品展・舞台発表）

【業績目標】

事業アンケートにおいて、人と人のつながりづくりに有効と考える区民の割合 60%

【撤退・再構築基準】

有効と考える区民が50%に満たない場合再構築

【前年度までの実績】

- ・キャンドルナイトin城北川
- ・種から育てる地域の花づくり事業
- ・緑化リーダー育成講習会
- ・城東区ゆめ～まち～未来会議事業の開催支援
- ・吹奏楽フェスティバル
- ・各種区民スポーツ大会の開催支援
- ・人権サミット
- ・生涯学習フェスティバル

R2 決算額	4,697千円	R3 予算額	9,011千円	R4 算定見込額	